

ArkGioia

株式会社アーク・ジョイア
東京都文京区音羽1丁目1番7号
正進社ホールディングスビル 4F
2024年11月吉日



soulution
nature of sound

ソウリューション
新製品発売のご案内

各位

拝啓 時下ますますご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社ではこの度、スイス / ソウリューションより最上位ラインである“7シリーズ”から、フラッグシップ・フォノ・プリアンプ「757」を発売いたします。

本機はノイズ成分を限りなく抑制しながら優れた周波数特性とコモンモード除去比を達成する事で、レコードディスクの微弱な音楽信号再生において理想的な性能を有しています。

また RIAA、DECCA、コロムビアなどのディエンファシス・カーブが選択可能なだけでなく、いずれの実測値も理想値と比較し $\pm 0.05\text{dB}$ の偏差を誇ります。更には一般的な MC、MM カートリッジだけでなく、同社初となる光カートリッジにも対応しており、様々なディスクやカートリッジに完璧に適合します。

ディスクに刻まれた微細かつ複雑な情報を不足なく真なる忠実再生を実現、アナログの可能性を十二分に引き出すホログラフィックでエモーショナルなサウンドは、ソウリューションの新たな到達点を体現しています。

つきましては別紙資料をご高覧賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| ■ブランド名 | Soulution (ソウリューション / スイス) |
| ■製品名 | 757 (フォノ・プリアンプ) |
| ■希望小売価格 | 12,000,000 円 (税別)、13,200,000 円 (税込) |
| ■発売日 | 2024年12月13日 (金) |

以上



soulution
nature of sound

■Soulution について

1956年にスイスで設立された電気工学部品および電機モーターの製造会社シュペモット社。

同社がその蓄積したノウハウを投入して2000年に創始したハイエンドオーディオ・ブランド

“Soulution(ソウリューション)”。ブランド名は Soul(魂 / 情熱)と Solution(説明 / 解答)を組み合わせた造語で、作り手達のオーディオ機器に対する願いに「音楽魂の解析」という意味が込められたブランド名になりました。

創設者であり開発責任者である Cyrill Hammer (シリル・ハマー) が手掛けるエレクトロニクス製品は、世界中のハイエンド・オーディオファイルから愛好され、注目され続けています。



シリル・ハマー氏

同社最上位となる“7シリーズ”は、音楽の真なる忠実再生のため、製品の内部回路設計においてコスト・サイズなど妥協を一切しません。全て最高品質のコンポーネントを使用、且つ最先端な技術を投入しながら、その妥協なき内部回路を収容するために最善で最適な筐体を後から設計する、というのがシリーズ・コンセプトです。

そしてこの度登場する新たな“7シリーズ”は、CDやアナログレコードなどの記録媒体に録音された音に「何も足さず、何も省略しない」という信条に従って、ゼロからの新しい開発に挑戦したプロジェクトとなります。その結果、従来の製品を明らかに上回る性能を有しながら、純度が高い真に忠実性を突き詰めたサウンドを再生する事で、リスナーには究極的に官能で、感動をもたらす音楽体験を提供します。

同社の理念である“nature of sound”を極限まで拘り続けた、同社の最高峰“7シリーズ”の新たな到達点です。





soulution
nature of sound

757 Phono Preamplifier



757 フラッグシップ・フォノ・プリアンプは、全てのアナログ・ソースの微妙な音の変化、ダイナミクス、音楽性、洗練をすべて備えた可能性と美しさを最大限に引き出し、音楽信号を損なわないように保ちます。音楽の細部を忠実に再現したホログラフィックな表現、リアルでエモーショナルなサウンドは、今までにない素晴らしいリスニング体験をもたらします。

757 はすべてのアナログ・ソースに接続が可能だけでなく、ノイズ、位相誤差、コモンモード除去、歪みの点で新しいベンチマークを達成しました。

■フォノ回路

革新的な入力段は、ノイズ性能を損なうことなくコモンモード除去を改善し、接続された MM 及び MC カートリッジの要件に応じて抵抗値および容量負荷を最適化することができます。またアナログのような微弱な音楽信号を扱うフォノ回路において、ノイズは出来る限り少ない事が理想です。広帯域幅 (2MHz) で最適なコモンモード除去を実現する並列の計装アンプにより、極めて僅かな音楽信号においても、損失なく伝送をする事が可能となります。また入力インピーダンスや負荷容量を細かく調整が可能な事で、多くのカートリッジやシステム、好みに合わせて正確に適合させることができます (以下調整範囲)。

【インピーダンス】

MC : 10 Ω ~ 1,270 Ω

MM : 47 k Ω

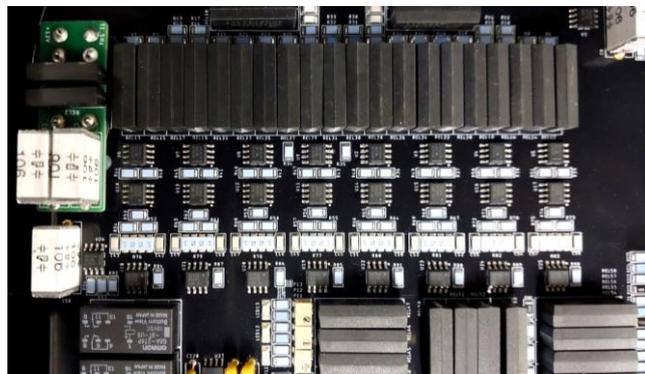
Tape : 20 ~ 100k Ω

【負荷容量】

MC : 0 ~ 200 pF

MM : 0 ~ 750 pF

Tape : 0 ~ 750 pF



細かなインピーダンス調整のために
緻密に隙間なく搭載されたリレー部



■豊富な入力

本機は MC、MM の他にオープンリールのためのテープ入力も搭載。

そして入力部の 1 つ (RCA) は、DS Audio の光カートリッジ専用です。光カートリッジの出力信号を最適に受信するための広帯域トランスインピーダンスアンプを備えています。

■アナログにとって理想的なゲイン・コントロール

757 フォノ・プリアンプにはボリューム・コントロールではなく、ゲイン・コントロールが搭載されています。一般的なフォノ プリアンプは、固定ゲインとボリューム コントロールで動作をします。この場合、始めに固定ゲインにより信号を高レベルまで増幅し、次にボリューム・コントロールにより信号を希望の再生レベルまで減衰することを意味するため、音楽信号には余計な回路を経由してしまいます。

そこで本機には、ボリューム・コントロールはなくゲイン・コントロールを搭載しています。音楽を聴くための必要な音量レベルに調整する際は、システムや環境にあった必要なだけのゲインを増減すれば良いだけであり、入力信号に対して最大限に純度の高い理想的なアナログ再生を実現とします。

■理想的なディエンファシス曲線

特に古い録音の場合、正しいディエンファシス曲線で再生する事で、理想的なサウンドを堪能する事が出来ます。フラッグシップとなる本機は、多くのディエンファシス曲線に対応した、真に理想的なプリアンプを求め開発されました。いくつかの選択可能なディエンファシスカーブにより、ほとんどのアナログレコードに用いられるディエンファシス曲線に対応。

更に本機のディエンファシス曲線の実測値は、理想となる各ディエンファシス曲線と比較し、20 Hz ~ 20 kHz の範囲において僅か ± 0.05 dB の偏差しかありません。録音された音源を限りなく忠実な状態で再生する事が出来ます。

【対応可能なディエンファシス曲線】

- ・レコード : RIAA、DECCA、コロンビア、ロンドン、TELDEC、NARTB
- ・テープ : IEC2-30ips、IEC1-15ips、IEC1-7.5ips、NAB-15ips、NAB-7.5ips

■出力段

クラス A 出力段は、速度、精度、および高いピーク電流を実現するために最適化されています。出力インピーダンスが低く、2 MHz (-3 dB) の幅広い周波数帯域幅、それに伴うオーディオにおける再生周波数帯域における最小限の位相シフトにより、音楽の細部がすべて忠実に再現されます。その結果、音楽性と自然な音色に満ちた立体的な空間音響体験が得られます。

■比類なきパフォーマンスを実現する電源部

“727”と同じ電源部を搭載。従来モデルではリニア電源を使用していましたが、本機はスイッチング電源 (SMPS) を採用。本機の電源部は、SMPS を介し、高効率の DC-DC コンバータと極めて低ノイズで高速なリニア・レギュレータによって、動作に必要な電源電圧を生成します。そしてリニア・レギュレータは、各電流シンク (オペアンプ、トランジスタなど) の隣に配置している事で、アナログ電源のノイズレベルが最低になり、信号パスも最短になります。電源部を L/R 独立させた「デュアル電源」構成による安定した電源供給を実現。本機のスイッチング電源回路は、音楽再生帯域に関係のない超高域の周波数帯で動作するため、SMPS の欠点と言われているスイッチングノイズの影響は皆無となります。全てにおいて妥協のない追求に生まれた電源部は、同社が真に理想となる品質へと進化を遂げ、音楽の純度を損なわない、ありのままのダイナミズムを堪能できる音楽再生が可能となります。



soultion
nature of sound

757 Phono Preamp

■製品仕様

型式	フォノ・プリアンプ
入力系統	MC,MM,TAPE×2 (XLR & RCA) 光カートリッジ×1 (RCA)
出力系統	XLR×2、RCA×1
入力インピーダンス	MC : 10 Ω - 1,270 Ω MM : 47 kΩ Tape head : 20 kΩ - 100 kΩ
出力インピーダンス	0.8 Ω (XLR)、0.4 Ω (RCA)
ディエンファシスカーブ (レコード)	RIAA、Decca、Columbia、London、Teldec、NARTB
ディエンファシスカーブ (テープ)	IEC2-30ips、IEC1-15ips、IEC1-7.5ips、NAB-15ips、 NAB-7.5ips
周波数特性	0Hz ~ 2,000,000Hz (2MHz)
コモンモード除去比	100dB 以上
S/N 比	110dB 以上
チャンネル・セパレーション	100dB 以上
ボリューム調整幅	-39dB~80dB, MUTE
消費電力	動作時 60W, スタンバイ時 0.5W 以下
外形寸法	W480 × D450 × H167mm
重量	28kg
希望小売価格	12,000,000 円 (税別)、13,200,000 円 (税込)

本機のアナログ・バランス (XLR) 出力は、2 番ホットです。

背面写真



株式会社アーク・ジョイア **ArkGioia**
112-0013 東京都文京区音羽1-1-7 正進社ホールディングスビル4階
Tel 03-6902-0480 Fax 03-6902-0944 www.arkgioia.com